

編集後記

*『人文論集 第五八号』をお届けします。本号も無事刊行にこぎつけることができました。今後とも皆様の変わらぬご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

*本号は、今年度をもって退職される吉田裕教授の記念号です。巻末に附された吉田裕先生の略歴および研究業績を拝見すれば、これまで先生の進めてこられた研究と教育の歩みが、いかに重厚なものであったかが窺えます。また、本号には先生のご論考も掲載されておりますので、併せてご覧ください。先生にはご退職後も引き続きご寄稿くださいますことをお願い申し上げます。

*卒業生が吉田裕先生を囲む和気藹藹とした巻頭の写真は、先生のご意向により掲載したものです。社会に出てからも、折にふれ師のもとに集う教え子の姿に、久しく忘れていた「学恩」という言葉が脳裡に蘇ってきました。

*法学部語学教養教員として今年度より新たに、マニゴ・ヴァンサン先生をお迎えすることになりました。先生の専門分野等につきましては、「紹介 私の研究」を是非ご参照ください。

*本号より退職された先生方にも『人文論集』への寄稿をお願いすることになりました。数年前より、すでに退職された先生方にも『人文論集』という場を通じて、引き続き研究の成果を伝えてもらいたいと望む声が教員の中より多くあがっていました。それがこの度実現する運びとなり、たいへん嬉しく思っています。

*これを承けて、塚原史先生（早稲田大学名誉教授）より本号に玉稿を賜りました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

*今日、成長著しいインターネットに逆行し、紙媒体の雑誌や書籍が死線を彷徨っています。高田馬場駅付近の某書店では、昨年よりフロア一階分を取り払ったうえに、文具用品を売るスペースをあらたに設けるなどして、いっそ

う書籍のスペースを狭めています。書籍をめぐる斯くも過酷な時勢にあって、ましてや商業を目的としないこのような論集が存続して発行できることに感謝したいです。

（大森記）

（二〇一九年度編集委員 大森信徳、鈴木理恵子、高岡佑介、武黒麻紀子、守中高明）

二〇二〇年二月一〇日 印刷
二〇二〇年二月一〇日 発行

非売品

編集者 大森 信徳

印刷所 (株) 敬文堂

発行所 早稲田大学法学会

東京都新宿区西早稲田一―六―一
〒169-8050 電話 三三―〇三―四一四一
振替口座 東京 九一七〇九二一番

<http://dspace.wu.waseda.ac.jp/dspace/handle/2065/5246>

